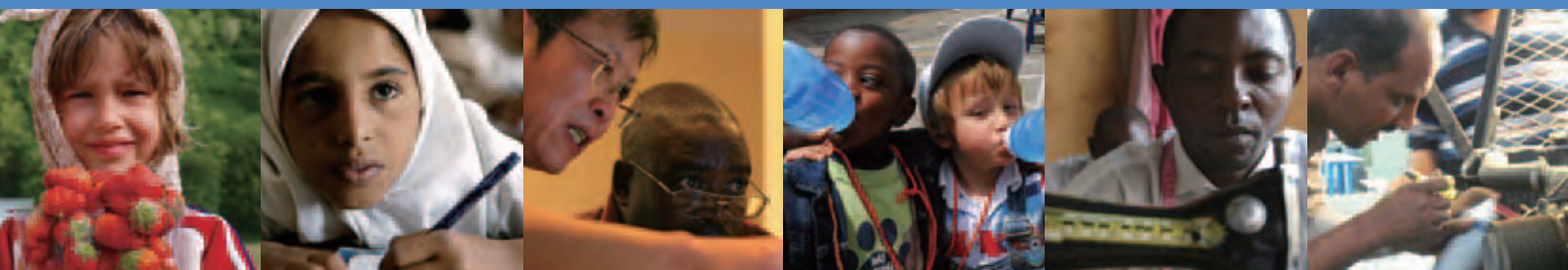


ANNUAL REPORT 国際協力機構 年次報告書

JICA 2011



すべての人々が恩恵を受ける、ダイナミックな開発を目指して

Inclusive and Dynamic Development

すべての人々が恩恵を受ける、ダイナミックな開発を目指して

巻頭メッセージ

東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

3月11日の震災発生直後から、JICAでは、国連支援調整チームや各国からの支援チームの受け入れ、青年海外協力隊二本松訓練所ほかJICA施設での被災者の方々への協力、職員や青年海外協力隊関係者の被災地派遣などに取り組んでまいりました。

この間、全世界の160を超える国・地域から日本に対し、支援が寄せられました。そのなかには、日本と経済的なつながりの強いアジアの国々だけでなく、自らも戦乱からの復興や貧困問題で苦勞している中東やアフリカの国々が多く含まれていました。こうした支援の背景には、これまでの我が国の地道な途上国援助に対する評価とともに、現在危機に瀕している人々のために最善の努力をという、「人間の安全保障」につながるヒューマニズムがあるといえるでしょう。

第二次世界大戦後、日本は、米国をはじめとする国際社会からの支援を受けて目覚ましい復興と成長を遂げました。そして、援助を「受ける側」から「する側」にまわって数十年を経ました。しかし、今回の震災を機に、私たちは再び国際社会による支援を受け、国際協力とは一方通行のものではなく、世界中の人々が繁榮していくために必要な、相互依存のシステムであることを改めて学んだのです。

東北の被災地で、厳しい環境に耐え、秩序を維持し、互いに助け合う人々の姿は、世界の賞賛を浴びました。この相互に依存し助け合う行動は、自らも厳しい状況にありながら支援の手を差し伸べてくれた国々に対する何よりの「感謝」「応答」になるのではないのでしょうか。

世界では、2011年になってからも、中東・北アフリカ諸国での民主化運動、長く戦乱下にあった南スーダンの独立など多くの新たな状況が発生し、そこには支援を必要としている人々がいます。また、アフガニスタンやアフリカ地域に関する我が国の支援公約、アジア地域における所得格差・貧困、さらには地球規模の気候変動など、引き続き取り組むべき課題も多くあります。

JICAは、各国・国際機関、企業、大学、NGO等多様な関係者とパートナーシップを築き、これらの課題に全力で取り組んでまいります。

本年次報告書は、JICAの2010年度の活動内容をまとめたものです。JICAの活動に、いっそうのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年9月



国際協力機構(JICA)
理事長

緒方 貞子

JICA at a Glance

数字でみるJICAの取り組み

14000 km

鉄道の新線建設、複線化など、整備した鉄道の総延長。東京から鹿児島までの鉄道総延長と同じです。

6.8 億トン

2007年度までに実施した、鉄道・都市交通、電力、ガスなどへの支援により、中国で削減された温室効果ガス(CO₂)の排出量。

累積総量で日本の温室効果ガス年間排出量の約2分の1に当たります。

6 倍以上

タンザニアにおけるコメ生産量の1974年と2008年の比較。22万トンから134万トンへと拡大し、長年にわたる一貫した支援を通じ、「コメ自給」の実現に貢献しました。

60000 人

2008年にアフリカで研修を受講した保健医療従事者の数。看護師養成校などの保健医療人材教育機関も6カ国19カ所で建設・改修しました。

32 カ国

妊産婦と乳幼児の健康改善を支援した国の数。妊婦健診の普及、お産の安全性の向上、乳幼児の感染予防などに協力しました。

85%

ベトナムの空港を使用する旅客人数に占めるJICAが支援した空港の旅客人数の割合。タイで76%、マレーシアで62%、ミャンマーで45%を占めます(2008年実績)。

2800万人

48カ国で建設した井戸などの上水設備により、過去5年間に安全な水を供給した住民の数。
この間、1万4000人の上水技術者も育成しました。

3万4000教室

1980年代から現在までに47カ国で整備した小中学校の教室数。そこで学ぶ児童生徒は210万人。
これまで研修を受けた教師は20万人に達します。

300万人

1996~2000年の間に実施した協力により、中国で下水道サービスを提供した住民の数。
また環境改善への支援により、2003年において、中国全土の年間のSO₂(二酸化硫黄)排出量を19万トン(日本のSO₂排出量/年の4分の1)削減する効果がありました。

20 km

ベトナムで整備した橋梁の総延長。瀬戸大橋の総延長(6つの主要な橋とそれらをつなぐ高架橋の合計)の2倍弱となります。